

拠出金名：中西部太平洋まぐろ類委員会拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(農林水産省)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額				76,640千円	
国際機関等名	中西部太平洋まぐろ類委員会 (英文名称・略称) Western and Central Pacific Fisheries Commission (WCPFC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省水産庁資源管理部国際課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成20年度	45,757	405		1US\$ = 113円	100
平成19年度	46,972	405		1US\$ = 116円	100
平成18年度	49,267	444		1US\$ = 111円	100
当該拠出金の目的・用途等	太平洋島嶼国の漁業統計情報収集能力の向上支援及び漁業取締体制の整備支援				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 3,061千ドル	
1位	日本	405	100.0	当該年度の支出 3,060千ドル	
2位				次年度への繰越 1千ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				Deloitte & Touche LLP	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
WCPFCは中西部太平洋のマグロ・カツオ類の資源管理を目的とした地域漁業管理機関である。我が国漁船は条約水域でマグロ・カツオ類総漁獲量の約8割を漁獲しており、我が国漁業者にとり重要な漁場。近年、効果的な資源管理の導入が急務となっており、WCPFCの果たす役割は重要であると評価。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
WCPFCにおいては、拘束力を有する措置を含む保存管理措置等が導入されており、我が国としても、科学的根拠に基づく措置を支持する立場にある。このため、我が国を含む加盟国等が拠出金を提供し、漁獲量の正確な把握及び取締能力の向上等を実現することにより、機能強化が図られている。					
邦人職員数	1人		当該機関全体の職員数	11人	
うち幹部以上	うち0人		及び邦人職員が占める率	9%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
事務局の幹部ポストについては、当面、邦人職員を送り込む予定はない。なお、委員会の下部組織である2つの作業部会の議長を、我が国職員が務めており、今後も、議長ポストの確保に努めていく。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。